

〔1〕令和4年度 永井科学技術財団 第40回財団賞授賞者

学術賞

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	学術賞	アマヤ トオル 雨夜 徹	公立大学法人 名古屋市立大学 大学院理学研究科 総合生命理学部	教授	ホスホン酸を有する自己ドーブ型導電性 高分子材料の開発
2	学術賞	オムラ ナオキ 尾村 直紀	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マテリアル研究部門 軽量金属プロセスグループ	研究 グループ 長	アルミニウム合金の低環境負荷技術開発
3	学術賞	スズキ アスカ 鈴木 飛鳥	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻	助教	3Dプリントのプロセスインフォマティクスで 拓く素形材製造の革新
4	学術賞	ナガノ ホウセイ 長野 方星	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 機械システム工学専攻	教授	多孔体内熱流動現象の計測・制御に基づ く次世代熱輸送デバイスの創製
5	学術賞	マエダ ヨシヒロ 前田 佳弘	国立大学法人 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 電気・機械工学系プログラム	准教授	制御性能と設計効率を高度に両立する協 調型数理最適化による自動制御設計
6	学術賞	ヨコヤマ ヒロシ 横山 博史	国立大学法人 豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 機械工学専攻	准教授	熱音響ヒートポンプによる空力騒音のエネ ルギーハーベスト

技術賞

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	技術賞	サイゴウ トモヤス 西郷 知泰	株式会社 マクシスエンジニアリング 技術部	シニアプロ フェッショ ナルエンジ ニア	ホログラフィック光学素子を用いた光沢面 外観検査用照明の開発
		ナカガワ カツノリ 中川 勝統	株式会社 マクシスエンジニアリング 営業本部 営業1課	課長	
2	技術賞	スズキ ユウジ 鈴木 諭治	トヨキン株式会社	代表取締役 役副社長	マンガン含有鋼板(高張力鋼板)選別装置 によるスクラップの高速選別システム
3	技術賞	タカハシ ナオヤ 高橋 直哉	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター瀬戸窯業試験場 セラミックス技術室	主任	ファイバー系断熱材の表面改質による性 能の向上
4	技術賞	タカハシ ヤスフミ 高橋 康史	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 電子工学専攻	教授	触媒活性サイトの実空間マッピング技術の 創成

奨励賞

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	奨励賞	チエ ビルギユ 権 弼圭	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 極限機能材料研究部門 電子セラミックスグループ	研究員	セラミックスナノ材料の構造制御とセンサ デバイスへの展開
2	奨励賞	ハラ ミツオ 原 光生	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 有機・高分子化学専攻	助教	堅硬なシリコン素材の開発
3	奨励賞	ヨコイ タツヤ 横井 達矢	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 物質科学専攻	講師	機械学習と第一原理計算の融合による半 導体格子欠陥の原子構造・特性の解明

〔2〕令和4年度 永井科学技術財団 第28回奨励金授賞者

研究奨励金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	研究	ウエノ トモナガ 上野 智永	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻	助教	超軽量空中浮遊素材の浮遊姿勢制御
2	研究	クドウ テツヒロ 工藤 哲弘	学校法人トヨタ学園 豊田工業大学 工学研究科 先端工学専攻	講師	中赤外量子カスケードレーザーを用いたシリコン系ポリマーの配向制御
3	研究	ササキ ユウキ 佐々木 祐生	一般財団法人 ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所	上級 研究員	液相電子顕微鏡観察技術を用いたスラリーの分散性評価
4	研究	タケダ ミヅキ 武田 洗晶	国立大学法人 豊橋技術科学大学 機械工学系	助教	福祉ロボットと高齢者のインタラクション
5	研究	タツミ ノブヒコ 巽 信彦	学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学 工学部 建築学科	講師	繰り返し塑性変形を受ける鋼材の疲労特性と履歴性状
6	研究	トミナガ ユウイチ 富永 雄一	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 ポリマー複合材料グループ	主任 研究員	異方性セラミックスフィラーの配向制御プロセスの開発と界面配向挙動の観察
7	研究	ノブカワ ショウゴ 信川 省吾	国立大学法人 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻	准教授	動的架橋を用いた脆性アクリルガラスの超強靱化と再生形性の両立

融合研究奨励金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	融合研究	キタ ケンイチロウ 北 憲一郎	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 セラミック機構部材グループ	主任 研究員	拡散および共晶生成を低減する銅とアルミニウムの異種接合技術開発
2	融合研究	シタラ カズキ 設楽 一希	一般財団法人 ファインセラミックスセンター ナノ構造研究所	研究員	原子変位制御の融合知に基づく高イオン伝導性素形材の創出
3	融合研究	フチガミ テルアキ 淵上 輝顕	国立大学法人 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 生命・応用化学系プログラム	助教	高性能ガスセンサの創製に向けたウニ状ナノ粒子の表面改質

モノづくり試作奨励金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	モノづくり 試作	ヒロモト カズマ 廣本 一真	国立大学法人 豊橋技術科学大学 機械工学課程 (ロボコン同好会代表)	学部 3年	ABU ROBOCON 2023にかかると、樹脂系素材を用いた射出機構および高精度移動技術開発
2	モノづくり 試作	カトウ ヨシマサ 加藤 良将	学校法人名古屋自由学院 名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース	講師	電子デバイスを内蔵したメディアアート作品の試作及び展示

## 共同研究奨励金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	共同研究	イトウ シンタロウ 伊藤 伸太郎	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 マイクロ・ナノ機械理工学専攻	准教授	微細印刷パターンニングのナノ力学特性の 解明
		クサカ ヤスユキ 日下 靖之	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター	上級主任 研究員	
2	共同研究	ノダ トシヒコ 野田 俊彦	国立大学法人 豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所	准教授	マルチガス感応膜の形成とセンシング技 術に関する研究
		アキヤマ マサヒロ 秋山 正弘	独立行政法人国立高等専門学校機構 長野工業高等専門学校 工学科 情報エレクトロニクス系	准教授	

## 素形材のデジタル化研究奨励金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	素形材 デジタル化	シマモト ダイスケ 島本 太介	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 材料・化学領域 マルチマテリアル研究部門 木質循環複合材料グループ	主任 研究員	木質系複合材料の物性予測AIモデルの 構築および学習データの量と質に関する 研究
2	素形材 デジタル化	ミズシマ ダイスケ 水嶋 大輔	学校法人名古屋電気学園 愛知工業大学 工学部 電気学科	講師	素形材の触感を伝える遠隔触感伝送のため のアクチュエータ設計理論の構築

## カーボンニュートラル研究奨励金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	役職	研究テーマ
1	カーボン ニュートラル	オダ アキラ 織田 晃	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 大学院工学研究科 応用物質化学専攻	助教	単原子合金ナノ粒子表面の構造－電子 状態の超制御による革新的水素化触媒の 創成
2	カーボン ニュートラル	ノムラ ユウキ 野村 優貴	一般財団法人 ファインセラミクスセンター ナノ構造研究所 電子顕微鏡計測インフォマティクスグ ループ	上級 研究員	透過電子顕微鏡を用いたLiイオン電池の その場観察法の開発
3	カーボン ニュートラル	ミヤザキ ヒデシ 宮崎 秀俊	国立大学法人 名古屋工業大学 大学院工学研究科 工学専攻 物理工学系プログラム	准教授	データ駆動科学を用いた高強度・高性能 熱電変換材料の開発

## 〔3〕令和4年度 永井科学技術財団 助成金交付者

## 大学院生海外研修助成金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	研修先	期間
1	海外研修	ウマコシ ミドリ 馬越 翠	国立大学法人 名古屋工業大学 工学部 創造工学教育課程 材料・エネルギーコース	ニュルンベルク(ドイツ) EMRS 2023 Spring Meeting	2023年4月～6月
2	海外研修	コヤマ ツバサ 小山 翼	国立大学法人 名古屋工業大学 工学部 創造工学教育課程 材料・エネルギーコース	アーヘン工科大学(ドイツ)	2023年4月～6月

大学院生国際会議発表支援助成金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	テーマ/国際会議	期間
1	国際会議	イタクラ フウガ 板倉 風雅	学校法人大同学園 大同大学 大学院工学研究科 機械工学専攻	“Effect of Variable Tilting Speed on Ladle Pouring Behavior in Die Casting” VIII International Conference on Particle-Based Methods(PARTICLES 2023), Milan Italy	2023/10/8 -10/13
2	国際会議	イトウ ヒロキ 伊藤 大輝	国立大学法人 名古屋工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程 工学専攻	“Anionic Polymerization of Polar Conjugated Diene Monomer with Phosphine as Initiator.” PPC The 17th PACIFIC POLYMER CONFERENCE, Brisbane Australia	2022/12/9 -12/16
3	国際会議	オオクラ ダイスケ 大倉 大佑	学校法人 中部大学 工学研究科 創造エネルギー理工学専攻	“超電導／金属複合導体による大電流高効率送電を目指した電流分布特性の把握” 16th European Conference on Applied Superconductivity(EUCAS 2023), Bologna Italy	2023/9/3 -9/7
4	国際会議	オヤマダ ユウスケ 小山田 悠介	国立大学法人 名古屋工業大学 大学院工学研究科 博士後期課程 工学専攻	“Phebin-Pd触媒を用いた不斉アレニル化反応の開発” International Conference on Organotransition Metal Chemistry, Singapore	2024/3/29 -3/30
5	国際会議	カトウ セインロウ 加藤 誠士郎	学校法人 中部大学 工学研究科 創造エネルギー理工学専攻	“REBCO系超電導材のCu安定化層を使用した直接拡散接合プロセスの最適化” 2022 Applied Superconductivity Conference, Honolulu USA	2022/10/23 -10/28
6	国際会議	カミヤ リュウタ 神谷 隆太	学校法人大同学園 大同大学 大学院工学研究科 機械工学専攻	“Study on material deformation and residual stress after face milling” 4th International Conference of Machining, Materials and Mechanical Technologies, Taipei Taiwan	2022/11/10 -11/15
7	国際会議	フクダ ヒカル 福田 光	学校法人 中部大学 工学研究科 応用化学専攻	“Preparation of Polyurethane Nanocomposites Reinforced with Plasma Treated Carbon Nanotubes” International Conference on Composite Materials(ICCM23), Belfast Ireland	2023/7/30 -8/4

大学院生論文投稿支援助成金

(50音順／敬称略)

No.	区分	氏名	所属	テーマ/投稿誌	投稿予定
1	論文投稿	イシカワ ヨウセツ 石川 耕雪	国立大学法人 豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 機械工学専攻	“The frequency domain exact solution of a multiphysical model of IPMC sensors (TBD)” Smart material and structures, IOP Science	2023/3月

科学技術育成教育助成金

(敬称略)

No.	事業名 申請者	目的/内容	日程 開催地
1 前期	青少年のための科学の 祭典2022・東三河大会  東三河大会実行委員会 /中部科学技術センター	主に小学生を対象に、実験や工作等を通して科学技術の楽しさ、面白さを体験し、発見の喜びと感動を実感できる場を提供し、青少年の科学技術への理解の増進と関心を喚起することを目的としている。 実験、工作関連のオンサイト演示とオンライン配信で約20のテーマを行う。オンサイトでは新スタイルに準じた安全施策を講じた上で、演示者と来場者が双方向で高めあえる機会としている。	2023/1/21-22  豊橋市こども 未来館ここにこ
2 前期	SSH東海フェスタ2022  SSH東海フェスタ実行委員会 /名城大学付属高等学校	東海4県(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県)を中心としたSSH指定校が一堂に集まり、研究開発の成果を発表するとともに、指定校相互の情報交換の場とする。これにより科学技術教育の発展と人材育成を図る。 生徒の研究発表を中心に令和3年度に続きオンラインで実施する。発表は名城大学の理系学部の学部長と協働して審査を行い、優勝発表を表彰する。 (1)オンデマンド発表 バーチャル空間サービス「oVice」による口頭発表 (2)リアルタイム発表 各行の代表による「Zoom」を用いた口頭発表およびYoutube Liveによる公開	オンデマンド 2022/7/11-23  リアルタイム 2022/7/16 各校(Web発表)
3 前期	第8期女性技術者リーダー養成塾  国立大学法人名古屋工業大学 ダイバーシティ推進センター	愛知県の製造業では、女性技術者の長期的な就労と専門性を活かしたキャリア形成を可能にする基盤構築が急務となっている。本養成塾はこの課題の克服に向けて、女性技術者個人と所属組織の双方向からの意識改革を目指す。受講者が、①自身のキャリア形成を主体的に計画する意識を持ち、②理論に裏付けられて品質管理術と技術者集団の特性を踏まえた組織運営術を学び、現場での問題解決に役立つ知識と技能を修得することを目的としている。 本養成塾は、女性技術者が長期的なキャリア形成を考えるためのキャリアデザイン講座と技術部門のリーダーとして身に着けるべき知識とスキルを学ぶマネジメント講座(計10講座)と入・卒業式で構成される。	2022/6月初旬 (募集開始) ~11月(卒業式)  名古屋工業大学
4 前期	青少年のための 「気象予報技能」修得研修会  日本ボーイスカウト愛知連盟	青少年が、気象予報の技能を修得することで、日常なんとなく疑問に思っている気象現象の自然科学を学ぶことを目的とする。 気象現象を観測する機材の構造、用途および気象変化で起きる自然界への影響を学び、天気図を自分で描き、簡単な解説ができる研修を行う。さらに気象予報士の講演を聞き、その仕事の内容や天気予報が出される作業過程を知る。	2022/12/3-4  ボーイスカウト愛知連盟 新城吉川野営場
5 後期	愛知総合工科高等学校 夢志(ゆめ)Innovation 成果発表会  愛知総合工科高等学校	工業科目の学習で身に付けた専門的な知識や技術を基に、工業に関する課題を発見して独創的な解決策を探究し、科学的な根拠に基づく創造的な解決法を実施することにより社会を支え、産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを主眼とする科目「課題研究」を実施し、その成果発表を毎年実施している。生徒はその成果を発表することで、専門的な知識や技術の深化、総合化を図り、課題解決能力の向上につなげている。この発表会を幅広く科学技術育成教育に資するものにしていくことを目的に参加者を中学生やその保護者、中学校教員、県内の工業科高校の教員・生徒に拡大した「夢志(ゆめ)Innovation 成果発表会」を開催して工学・科学・ものづくりの楽しさや面白さを多くの中学生などに発信し、将来のものづくり愛知を支える研究者、技術者・技能者の育成に繋げるとともに、工科高校の魅力を発信する。	2024/1月下旬 (平日)予定  愛知県立愛知総合 工科高等学校
6 後期	青少年のためのSTEAM教育を通じたSDGs体験 ~3Dプリンタ×鋳造技術~  大同大学生産加工ラボラトリー	青少年が設計から製作までのラピッドプロトタイプングプロセスを経験する。モデルを設計し3Dプリンタで作製したモデルを砂型内に埋め込み、加熱・溶解させる消失模型鋳造法を経験する。これにより、3D技術を使った設計から製品製造に至るまでの過程を学び、STEAM教育を通じたものづくりへの理解を深めることが目的である。加えて、鋳造材料を事前収集したアルミ缶スクラップとすることで、SDGsについても理解を深める。	2023/8~9月 (予定)  名古屋市立 工業高等学校
7 後期	ものづくり体験記ならびに オリジナルマグネットの作成  豊田工業高等専門学校	低融点合金オリジナルマグネット製作を通して、鋳造加工技術を体験し、学んでもらう。この体験学習は、小学生、中学生に対してもものづくりの楽しさや難しさを伝え、機械工学に触れる機会とし、機械工学の魅力を感じてもらふことを目的とする。また、本講座は豊田高専機械工学科学生が講師を務め、学生らが自ら企画運営することにより、受験生にはロールモデルの情報提供となり、本校学生には、主体的な学びとキャリア形成の一助となる。	2023/8/4, 8/19  豊田工業高等 専門学校 ものづくりセンター他

企業化支援助成金

(敬称略)

No.	事業名 申請者	目的/内容	日程 開催地
1 前期	CNBベンチャー大賞  中部ニュービジネス協議会	「素形材および素形材と融合する分野」、「カーボンニュートラルに関わる素形材関連分野」で革新的な新しい事業に挑戦しているスタートアップ企業及び既存企業によるニュービジネスを公募し、事業の成長性や社会への貢献度などを評価し表彰することによって、同分野でのニュービジネス活動への取組みを称えるとともに、同分野で起業を目指す人にとって目標となるモデルを示し、同分野における起業家精神の高揚を図る。 上記分野におけるスタートアップ企業を当協議会ベンチャー大賞で選定し、支援対象として助成金を交付する。	募集:2022/8月-9月 一次選考:10月初旬 最終選考:10月下旬  ミッドランドホール